

土佐さきがけプログラム ディプロマ・ポリシー

■グリーンサイエンス人材育成コース

【知識・理解】

- ・理工学分野の化学の基礎的な知識を有し、さまざまな現象を化学的に理解できる能力を修得している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 理工学分野の化学に関する広範な基礎知識を修得している。
2. 与えられた課題に対して専門知識を的確に活用することができる。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 化学物質に関する基礎知識を修得している。
2. 環境の維持や持続社会に関する知識を修得している。

【思考・判断】

- ・観察により得た事実や実験から得たデータを理工学的な視点から論理的に考察し、現象を説明できる能力を有している。

〔論理的思考力〕

1. さまざまな現象を分子に関連付け理工学的な視点から化学的に考えることができる。
2. 得られた事実やデータを論理的に考察し、観測現象を説明することができる。

〔課題探求力〕

1. 現代社会の諸問題を化学に関連付けて理解し、その解決に向けて理工学的な視点から研究を展開する習慣を身につけている。

【技能・表現】

- ・合成、分析、解析などの理工学分野の化学に関する基礎技術を身につけており、論理的に現象を説明できる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 化学情報に関する知識を身につけ適切に活用することができる。
2. 理工学分野における専門の文献を読むために必要となる英語力を修得している。

〔表現力〕

1. 専門分野における学術用語を適切に用いて課題を的確に表現することができる。
2. 研究成果を論理的に記述し、聴衆に理解できるように口頭で発表することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 多様な考えをもつ人々の意見を聞き、意思疎通を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・理工学分野の化学についての関心と疑問を持ち、自ら探究し、解決する意欲を持つ。
- ・現代社会の諸問題を化学に関連付けて理解し、その解決に向けて研究を展開する習慣を有している。

〔協働実践力〕

1. グループの中で自らの役割を認識し、責任を持ち行動することができる。
2. 関係者と協働し、研究等を推進することができる。

〔自律力〕

1. 文献収集など、課題解決のために必要な行動をとることができる。
2. 課題解決のためのプロセスを意識し、自ら理工学的な視点から解決策を考えることができる。

〔倫理観〕

1. 理工学分野の物質化学に携わる者として必要となる倫理観を身につけている。
2. レポート・卒業論文等において守るべきルールに従って準備・作成することができる。

【統合・働きかけ】

1. 化学物質の視点から環境問題などの現代社会が抱える様々な問題に積極的に取り組み、課題解決のための方法を提案することができる。
2. 研究プロセスにおいて、関係者と議論を重ね、解決策を議論し、それをもとにより質の高い成果を提示できる。

■国際人材育成コース

【知識・理解】

- ・自文化・異文化に関して深い知識・理解を持つことができる。
- ・国際関係・国際コミュニケーションに関して多面的な知識・理解を持つことができる。
- ・国際関連業務遂行に関する実践的な知識・理解を持つことができる。

〔専門分野に関する知識〕

1. 国際情勢を理解するための社会科学的な基礎知識を修得している。
2. 自文化に関する深い知識を修得し、英語で説明することができる。
3. 異文化に関する知識を修得し、自文化と比較することができる。

[人類の文化・社会・自然に関する知識]

1. 社会の動きに対して幅広い関心を有し、多面的に理解している。

【思考・判断】

- ・自らの見解を日本語・中国語・英語で形成・表現できる。
- ・国際関連業務遂行のために必要な問題発見、課題解決能力・判断力を備えている。

[論理的思考力]

1. 社会的事象について論理的に説明できる。
2. 国際社会における課題についてその背景や原因について説明することができる。

[課題探求力]

1. 社会の課題を発見し、その原因を考察する能力を身につけている。
2. 地域の課題とグローバルな課題を関連づけて考察することができる。

【技能・表現】

- ・多様な文化への柔軟な理解と共感を持ち、日本語・中国語・英語を聴く・話す・読む・書くの4技能に通じ、それを国際コミュニケーションの道具として駆使できる。
- ・国際関連業務に必要とされる自文化・異文化理解能力、異文化コミュニケーション能力を身につけている。
- ・組織運営課題の発見・分析・解決能力、討論能力、情報の収集・発信能力を身につけている。

[語学・情報に関するリテラシー]

1. 日本語、英語で書かれた記事や論文等を正しく読解することができる。
2. 中国語で会話でき、中国語で書かれた文章を読むことができる。
3. パワーポイント等で日本語や英語の発表資料をわかりやすく作成することができる。

[表現力]

1. 自ら設定したテーマについて、日本語、英語、中国語で自分の意見を述べることができる。
2. 日本語と英語で論理的なレポートを書くことができる。

[コミュニケーション力]

1. 聞き手の関心や文化的背景を考慮したプレゼンテーションを日本語と英語で行うことができる。
2. 国際的テーマに関し、日本語と英語による討論を行うことができる。
3. 組織で必要とされるコミュニケーションに関する知識を修得している。

【関心・意欲・態度】

- ・日本語・中国語・英語のいずれの言語にも高い関心を持ち、また、これらの言語の運用能力を高めることに労を惜しまず、将来、修得した知識を社会の発展のために還元しようとする意欲・態度を持つことができる。
- ・自文化と異文化を理解する心を持ち、国内外の人々と協力して働くことに強い関心と意欲を持ち、異文化コミュニケーション能力を高め、国際社会の発展のために貢献しようとする態度を持つことができる。

〔協働実践力〕

1. 組織における自分の役割を認識し、能動的に活動することができる。
2. 積極的にフィールド学習に参加し、グループ学習等を通じて地域課題について考察することができる。

〔自律力〕

1. 国際社会の課題解決に向けて自らの学習目標を設定し、取り組むことができる。
2. 実践家の知識や経験等から自らのキャリアについて考察することができる。

〔倫理観〕

1. 国際社会に対する見識を高め普遍的な価値観を身につけている。

【統合・働きかけ】

1. 社会的課題を発見し、その原因を考察し、解決のための提案を日本語と英語で論文として執筆することができる。
2. 研究プロセスにおいて、関係者と議論を重ね、解決策を議論し、それをもとにより質の高い成果を提示できる。

■生命・環境人材育成コース

【知識・理解】

- ・生命とそれを育む環境ならびにこれらに関連する諸科学の専門的知識を修得している。
- ・動物・植物・微生物の生存環境の維持や健全性回復が、人間にとっても健全な生存環境の構築につながることを理解している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 生命科学の基礎に関する知識を修得している。
2. 生命科学の応用に関する知識を修得している。
3. 生命を支える環境と生態系に関する知識を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 生物の生存環境の維持や健全性回復と人間の生存環境・社会との関係についての

知識を修得している。

【思考・判断】

- ・動物・植物・微生物を取りまく環境が果たす役割、生命と環境の調和、様々な環境問題の解決について、ミクロおよびマクロな視点で自ら幅広く考えることができる。

〔論理的思考力〕

1. 環境や目に見える生命現象について、原子や分子、遺伝子に結び付けて考えることができる。
2. 様々な生物の生命やそれを支える環境について、個体レベルの視点や生態学的な視点から考えることができる。

〔課題探求力〕

1. 環境や生命に関する現象について、原子・分子・遺伝子の視点や生態学的な視点から課題を見出すことができる。
2. 環境や生命に関する課題について、原因を追究しながら解決策を考えることができる。

【技能・表現】

- ・他の研究者との議論や国内外の学術論文を参考に、生命を育み、護り、次の世代へ繋ぐための様々な課題を俯瞰することができ、課題に対する解決策を提案し、文章や図表を用いて表現できる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 国内外の学術論文等を参考に、生命を育み、護り、次の世代へ繋ぐための様々な課題を俯瞰することができる。

〔表現力〕

1. 様々な課題に対する解決策を提案し、文章や図表を用いて表現できる。

〔コミュニケーション力〕

1. 多様な考えをもつ人々の意見を聞き、意思疎通を図ることができる。

【関心・意欲・態度】

- ・生命活動とそれを支える環境ならびにこれらに関連する諸科学に関する知識と研究成果を、地域社会の活性化につなげようとする意欲がある。

〔協働実践力〕

1. 周囲と協力するにあたって、自らの役割を意識し、責任をもって発言・行動することができる。

2. 様々な関係者と協働して、知識と研究成果を地域社会の活性化に繋げることへの関心と意欲がある。

〔自律力〕

1. 自らを正しく規制し、知識と研究成果を地域社会の活性化に繋げようとする態度を有する。
2. 研究のプロセスを意識し、計画・実行にあたって自らをマネジメントすることができる。

〔倫理観〕

1. 不正行為を行うことなく、研究成果を発表・報告し、地域社会の活性化につなげようとする態度を身につけている。

【統合・働きかけ】

1. 生命活動とそれを支える環境ならびにこれらに関連する諸科学に関する知識と研究成果を統合し、地域社会を視野に入れた観点から成果を示すことができる。
2. 環境や生命に関する現象について、原子・分子・遺伝子の視点や生態学の視点から得られた知見をもとに、関係者・研究者と議論し、課題解決に向けた提案をすることができる。

■スポーツ人材育成コース（副専攻）

【知識・理解】

- ・専門実技の競技力向上および指導力を高めるために各種スポーツ科学を学びその知識を理解する。

〔専門分野に関する知識〕

1. 専門実技の競技力を向上させるためのスポーツ科学知識を理解している。
2. 専門実技の指導力を高めるためのスポーツ科学知識を理解している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. ヒトが太古から受け継いできた心身のメカニズムに関する知識を修得している。
2. スポーツの歴史と文化、社会とのかかわりに関する知識を修得している。

【思考・判断】

- ・専門実技の競技力向上および指導力を高めるために各種スポーツ科学を学び、その知識をスポーツ場面に活用する思考をもつことができる。

〔論理的思考力〕

1. 競技や指導において、心身のメカニズムやスポーツ科学理論と結び付けて考える

ことができる。

2. スポーツ科学の専門知識を、競技や指導の場面に応じて、どのように適用し活用すべきか考えることができる。

〔課題探求力〕

1. スポーツ科学の専門知識を用いて、競技や指導場面における課題を見出すことができる。
2. 競技や指導場面で発生した課題を、原因を追及しながら解決策を考えることができる。

【技能・表現】

- ・科学的な理論に基づく合理的な実践を通して技能(競技力)を高めるとともに、得られた成果を論理的に分析し、スポーツ指導に活用することができる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 競技力や指導力の向上に必要な専門情報を収集することができる。
2. 収集された専門情報資料を分析し、纏めることができる。

〔表現力〕

1. 自分の技術や課題について、文章や図表を用いて説明することができる。
2. スポーツ指導場面で、相手に理論を具体的に分かりやすく指導することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. トレーニングや指導に関する問題点を論理的に説明し、問題解決に向けて議論することができる。
2. 相手が抱えている問題について、相手の話をよく聴き、相手の気持ちを受容することができる。

【関心・意欲・態度】

- ・専門実技の競技力の向上およびスポーツの指導力を高めるために各種スポーツ科学の学びに関心を持ち、意欲的に学習することができる態度を養う。

〔協働実践力〕

1. 競技に関わる様々な役割の人々に関心をもち、その専門性を理解している。
2. 他種目の競技者と協働しながら、競技によって異なるトレーニング方法を理解している。

〔自律力〕

1. 自分に不足している能力を分析し、その獲得に向けて意欲的に学習できる。
2. パフォーマンスを高めるためのトレーニング計画や指導計画を作成することができる。

きる。

〔倫理観〕

1. ドーピングや禁止薬物についての専門知識を明確に理解している。
2. 暴力行為やハラスメントなどの不適切な指導について明確に理解している。

【統合・働きかけ】

1. 競技力および指導力の向上のために自律的で積極的に取り組むことができる。
2. 専門知識を論理的に理解し、それを具体的・実践的に用いて、競技力・指導力を向上させるための提案をすることができる。